

Truth

[トゥルース]

富山のスポーツの
真実を伝える

2018 夏号
アスポとやま
¥0 Takefree

富山初のスポーツマガジン

VOL. 14



水の精鋭たちの
熱い戦いが始まった

水球
稲場 悠介
飛込
長澤 明生
競泳
竹田 涉瑚



スポーツ振興くじ助成事業



ほおぼる幸せ。

ほおぼる幸せ。

富山米



Truth

【トゥルース】
VOL.14 富山のスポーツの真実を伝える
夏号

ホームページもご覧ください!!

Yusuke Inaba &
Kenya Yasuda

Mei Nagasawa
Yoshihiro Sakata

Shogo Takeda
Tosaka & Miyahara

TOYAMA SPORTS
THREE TEAM

TOYAMA
SPORTS
MESSAGE BOARD

SPECIAL FEATURES

- 02 水球日本代表・稲場悠介
リオ五輪代表・保田賢也が聞く
富山の「ポセイドンジャパン」の系譜
- 04 飛込の坂田芳寛・長澤明生師弟コンビ
「競技も英語も習っています」
2020年東京五輪への展望
- 06 インタビュー・泉敏郎さん
競泳男子1500自を制した竹田の思いとは?
- 07 レスリング女子日本代表ら高岡合宿
岡本さんが語る登坂・宮原親子の思い出
富山のプロチーム3球団のリアル情報
- 08 野球
富山GRNサンダーバース
とやまスポーツ応援バラエティ「リー!リー!リー!」より
伊藤監督のプライベート、聞いてみました!
- 10 サッカー
カターレ富山
J3後半戦へ。安達監督のもと浮上なるか
- 12 バスケットボール
富山グラウジーズ
黒田社長に3季目の展望と課題を聞く
- 14 富山のスポーツ伝言板
美への要素をココロのスイッチに
ショートトラックの坂爪選手が指導
※皆様からの耳寄り情報お待ちしております!



あなたも、コンビニ、ファミリーマート 検索

FamilyMart 問合せ先 / ファミリーマート 富山東営業所・富山西営業所 Tel.076-422-9575

※一部商品で取り扱いのない場合がございます。※画像はイメージです。©3,27-4,9(月)

県内のファミリーマートで「Truth」を配布いただいています!

「Truth」の配布にご協力いただいている店舗・事業所などは次の通りです

あおき接骨院、KHEIR(ケイル)、スポーツドームエアーズ、ボンジュールSAKATA二口店、ボンジュールSAKATA富山駅前店、いっぽ堂、スポーツショップランナー、ノン・ビリィ、山内武道具店、カフェ ジャックラビット スリムス、アピアスポーツクラブ、西能病院、JSS富山インドアテニススクール、うな富、ビッグエッグ、ベースボールハウスMVP、すき焼 はやし、バイエルンスポーツ、栄寿し、居酒屋酔虎伝、松長接骨院、竹接骨院、奥田接骨院、原接骨院、ヘアーサロンみずほ、いなみ木彫りの里 創遊館(道の駅 井波)、ねむり家、MUSCLE GYM TOKYO富山店、娘餃子、ステーキ すず屋、高岡ワイン倶楽部、LIXILリフォームショップ ユニテ、Mag Haus、カフェ ゴッコ、ハウディーキオスクマーケット1931、ゴールドカレー富山豊田店、curry&bar nine、遊さん、万里摩理(マリーマリー)、Trattria La Luce、浅川接骨院、寿司正、柵カフェ、おき接骨院、村上接骨院、ヤマヒデホーム、らんぶる、スポーツ&コンディショニングセンターPOSS.、山田書店、富山空港内の喫茶Wingとカードラウンジらいちょう、らーめん菜館はじめ、moohno(モーノ)、山町茶屋、こやま接骨院、香華楽、ベースボールハウス スタジアム、Beato (順不同)

このほか、富山県内のスポーツ・文化施設、公共の窓口、スポーツ団体の事務局、総合型地域スポーツクラブの事務局などで配布いただいています。NPO法人Tスポとやまは、「Truth」の配布にご協力いただける事業所・店舗などを随時、募集しております。

弾けるアイデア
固まる信頼

ゆるみ止め加工されたネジ、ボルトは
こんなところにも使われています

NISSEI TECHNICA
株式会社 ニッセイテクニカ
www.nissei-tc.com

富山発のスポーツメディア
Truth

NPO法人 Tスポとやま 富山初のスポーツマガジン「Truth」発行・運営
TEL:080-3461-5959 E-mail:nisennen@tspotoyama.com
ホームページ:http://tspotoyama.com/ Facebook:https://www.facebook.com/tspo.truth

富山に脈々と続く「ポセイドンジャパン」の系譜 リオから東京へバトン

水球日本男子代表の稲場悠介(ブルボンWPC柏崎)は今季、フル代表に初選出され、五輪、世界水泳に並ぶ3大大会の一つである「水球ワールドリーグスーパーファイナル」で得点王とベストヤングプレイヤー賞を獲得した。「ポセイドンジャパン」の即戦力となった超・新星だ。目指すは海外での活躍と、2020年東京五輪でのメダル獲得。リオデジャネイロ五輪に出場した富山WPCの先輩・保田賢也さんと富山や日本の水球の未来についてじっくり語り合った。

聞き手・文 土田 由香里
写真 若林 朋子



稲場 水球を始めたきっかけは、兄の影響です。小学1年のころでした。兄・姉・妹と僕の4人全員が水球をしています。幼いころは、兄と姉を早く追い抜きたいと思って練習していました。家においても、試合のあった日はプレーを振り返ってアドバイスを合いました。

今年初めてフル代表に選ばれました。以前から、よく知っている選手ばかりだったし、プレーはすぐに合わせる事ができました。ただ、現在の日本代表は「パスライン・ディフェンス」というプレースタイルを採用しているの、最初は少し戸惑いました。

保田 彼は、富山に代表選手が来た時に、よく練習を観に来ていて、僕がほかの選手に「コイツ上手いよ」と言っていて紹介していました。それで、練習中も一緒にボールを触っていました。若いけれど、実力を認められていて、キャラクターもいい。代表に入ってもすぐに馴染めたと思います。そして、すぐ結果を残している。すごいですよ。

ちなみに、日本のパスライン・ディフェンスは、海外のチームと対戦する際、普通にプレーしても体格・パワーで負けるから、そのための対策です。相手のパスラインにどんどん入っていくんです。その代わり、体力・泳力が必要。日本人の特性を活かしたスタイルです。そのため練習はキツイ。

保田 実績を残したといえ、スーパーファイナルで日本代表は史上初の4位でした。稲場選手は、得点王とベストヤングプレイヤー賞を獲得した。初のフル代表で、この成績はすごいよ。得点王にはほかに2人いましたが、いずれも世界でトップクラスの選手です。その中に入ったんですから、驚きました。

稲場 得点王が特に嬉しかったです。6試合で14ゴール。試合中にキーパーと1対1になったのに、決められなかったシュートが5本くらいあったと思います。それが決められていたら……。保田 最初にこれだけの成績を残したので、代表での地位を揺るぎないものにならないといけないと思います。天狗にならず、しっかり取り組んでいってほしいですね。

稲場 先輩からの期待は大きいけれど、僕はそういうの、あまり感じません。自分の夢の達成のために練習に励んでいます。

保田 夢は何だろう？

稲場 イタリアのプロリーグ・セリアAの「プロレッコ」というチームに入って活躍することです。一流の選手しか入れないチームで、僕が小さい頃から知っている強豪です。

保田 だから環境を変えたの？

稲場 一流になりたい。だから、水球中心の生活にしようと思った。そこで富山県内の全日制の公立高から第2学院高の通信制に編入しました。自宅で勉強し、夕方から練習しています。現在は富山県選抜で国体を目指しているのと、社会人のブルボンWPC柏崎にも所属していて、週末は柏崎に行つて練習しています。ブルボンは、以前富山WPCの監督を務めていた舟崎敏史さんがコーチをしていた縁から、一緒に日本選手権で優勝を目指そう」と誘われました。

保田 ブルボンは、僕が所属していたころに優勝したことがあるけど、ここ最近日本選手権では準備不足で、稲場には頑張ってもらいたい。練習がない日でも自主練習をして、8試合で5点しか取ることができなかったけれど、行く前に比べると、成果を感じることができたので満足しています。

保田 この年齢で強豪国のチームに入つて、試合に出るのは並大抵なことではないです。練習生として行くのとは違いますから。もしかしたら、ランコ監督はそれを見越して行かせたのかもしれないね。

稲場 富山にいて、僕はチャンスがあれば、どんどんシュート打っていくことが多かった。しかし、海外に行くと、周りにも決められる選手がいて、時間も有効に使いながら試合をするので、今だったら、富山でも他の選手を活かすプレーができると思います。

実は小学生のころから自分中心でプレーしていました。だから、試合中いつも怒っていた。でも、怒られた人の様子を見ていて気づいたんです。怒られたら萎縮してしまう。そして、プレーがよくなるわけではない。また、怒った方は身体が硬くなつて、いいプレーができないというデメリットもあります。それに気づいた時、自身のプレーや、水球に取り組み姿勢が一変しました。

ど、ここ最近日本選手権では準備不足で、稲場には頑張ってもらいたい。練習がない日でも自主練習をして、8試合で5点しか取ることができなかったけれど、行く前に比べると、成果を感じることができたので満足しています。

保田 この年齢で強豪国のチームに入つて、試合に出るのは並大抵なことではないです。練習生として行くのとは違いますから。もしかしたら、ランコ監督はそれを見越して行かせたのかもしれないね。

稲場 富山にいて、僕はチャンスがあれば、どんどんシュート打っていくことが多かった。しかし、海外に行くと、周りにも決められる選手がいて、時間も有効に使いながら試合をするので、今だったら、富山でも他の選手を活かすプレーができると思います。

稲場 2017年12月から今年3月までは、強豪国のモンテネグロでプレーしてきました。ブルボンのランコ・ペロビッチ監督が「若いうちに海外でのプレーを経験してきたらいい」と紹介してくれた。「アドヴァ」というチームでプレーしました。

最初の試合では全く歯が立た

稲場 8月25日からジャカルタでアジア大会が行われます。

保田 アジア各国を圧倒して優勝してほしいですね。リオ五輪の子選抜突破から、日本はアジアで負けていないです。彼には得点王を獲得してほしい。

稲場 自信があります。スーパーファイナルで賞を獲得して、次活躍できなきゃ、恥ずかしい。もっと練習しますよ。2年後には東京五輪。もちろん、大きな目標です。その時はエースで、ベスト8には入りたい。

保田 富山のためには、僕のリオに続いて、五輪出場を決めてほしい。そして、結果も残してくれよ。

稲場 8月25日からジャカルタでアジア大会が行われます。

保田 アジア各国を圧倒して優勝してほしいですね。リオ五輪の子選抜突破から、日本はアジアで負けていないです。彼には得点王を獲得してほしい。

稲場 自信があります。スーパーファイナルで賞を獲得して、次活躍できなきゃ、恥ずかしい。もっと練習しますよ。2年後には東京五輪。もちろん、大きな目標です。その時はエースで、ベスト8には入りたい。

保田 富山のためには、僕のリオに続いて、五輪出場を決めてほしい。そして、結果も残してくれよ。

新旧水球日本代表／稲場悠介×保田賢也



のために練習に励んでいます。

保田 夢は何だろう？

稲場 イタリアのプロリーグ・セリアAの「プロレッコ」というチームに入って活躍することです。一流の選手しか入れないチームで、僕が小さい頃から知っている強豪です。

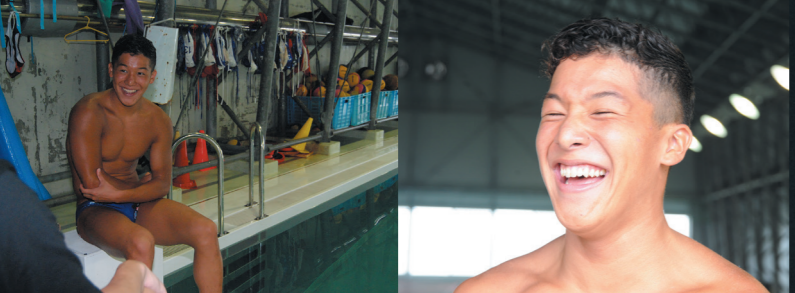
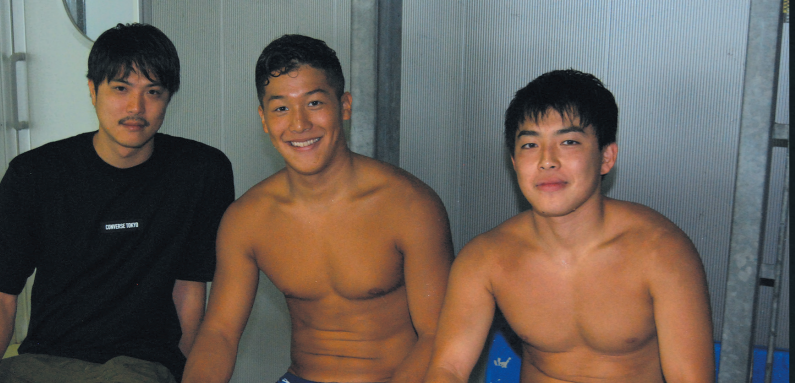
保田 だから環境を変えたの？

稲場 一流になりたい。だから、水球中心の生活にしようと思った。そこで富山県内の全日制の公立高から第2学院高の通信制に編入しました。自宅で勉強し、夕方から練習しています。現在は富山県選抜で国体を目指しているのと、社会人のブルボンWPC柏崎にも所属していて、週末は柏崎に行つて練習しています。ブルボンは、以前富山WPCの監督を務めていた舟崎敏史さんがコーチをしていた縁から、一緒に日本選手権で優勝を目指そう」と誘われました。

保田 ブルボンは、僕が所属していたころに優勝したことがあるけど、ここ最近日本選手権では準備不足で、稲場には頑張ってもらいたい。練習がない日でも自主練習をして、8試合で5点しか取ることができなかったけれど、行く前に比べると、成果を感じることができたので満足しています。

保田 この年齢で強豪国のチームに入つて、試合に出るのは並大抵なことではないです。練習生として行くのとは違いますから。もしかしたら、ランコ監督はそれを見越して行かせたのかもしれないね。

稲場 富山にいて、僕はチャンスがあれば、どんどんシュート打っていくことが多かった。しかし、海外に行くと、周りにも決められる選手がいて、時間も有効に使いながら試合をするので、今だったら、富山でも他の選手を活かすプレーができると思います。



やすたけんや 富山市出身、29歳。富山市の北部中一富山北部高1筑波大1ブルボンWPC柏崎、リオ五輪に出場。現在は俳優、タレント活動のかたわら、明大水球部コーチで、パーソナルトレーナーとして指導に当たる。

Tスポとやま
設立3周年記念講演会
県生涯スポーツ協議会指導者研修会
 演題「震災から7年 復興そしてラグビーW杯への思い」
 講師 石山次郎氏(元ラグビー日本代表、スクラム釜石代表)
 ■2018年9月15日(土)午前10時~11時半
 ■会場 県民会館401号室
 定員100人 / 申し込み 県生涯スポーツ協議会 (TEL076-431-2038)
 主催 県生涯スポーツ協議会 共催 Tスポとやま 特別協賛 ニッセイテクニカ

この夏、高難度の技に挑む

県高総体プールを訪れた。18年前の夏、ここで2000年とやま国体夏季大会が開催され、水泳の成年男子・飛板飛込で坂田芳寛選手が栄冠に輝いた。坂田さんは現在、指導者として後進の育成を担っており、国際大付高の英語教諭でもある。競技と英語、両方で指導を受けているのが2000年生まれの長澤明生選手（国際大付高3年）だ。高飛込を得意とし、昨年の日本選手権で堂々の3位入賞。6月に行われた日本室内選手権飛込競技大会は準優勝した。日本のトップクラスで厳しい戦いを続ける師弟「コンビ」に話を聞いた。



MEI NAGASAWA

水泳・飛込 長澤 明生

文・写真 若林 朋子

——まず、飛込との出会いから教えてください。
幼いころの習い事は、ダンス、体操、水泳、書道など。何でも少しずつやっていました。運動神経がいいわけではないんですが、体に柔軟性があります。飛込ってマイナーですから、競技の存在すら知りませんでした。でも、小学2年生のころに挑戦する機会があり、のめり込んだんです。最初は恐怖心があったけれど、抵抗はなかった。1週間ぐらいたって7・5メートルの台から飛び込むことができました。バック転をする感覚とは比べ物にならないくらい、くるくる回ることができるようになりました。人間離れた動きに夢中になりました。すごい技を繰り出す先輩たちを見て「カッコいいな」と思いました。

——長澤選手自身は「すごい技」をどうやって習得していったのですか？
小学3年の冬に宙返りができるようになりました。回る感覚をつかむためにマット運動やトランポリンで基礎的な動きをやったり、腹筋を鍛えたりしました。怖いのは体の一部が板に当たってしまうこと。失敗するとしばらくは、恐怖心が先に立ちます。そういえば小学3年の時、やめたいと思ったことがありました。でも4年の夏に初めて北信越大会に出て、たまたま優勝し

ました。しかし、全国大会では予選落ち。悔しくて大泣きでした。ビデオで研究し、1回転半を目標に練習して4年の冬にマスターし、5年の北信越大会で優勝することができました。全国大会では4位。進歩したけれどやはり「悔しい」と思いました。

——高いレベルに到達すると、また次の目標が見えてきますね。昨年、日本選手権で上位入賞を果たしました。競技を始めて8年間で、びつくりするような結果が出たと思っています。でも課題はまだ、いっぱいあります。同世代には強い子、上手な子がたくさんいます。ずっと戦つていかねばなりません。

高飛込は得意ですが、飛板飛込では上位になかなか食い込めない。うまい人は板を上手に踏んで反発力を利用します。でも私はまだ「板に振り回されている」と感じる。板のしなりに合わせてジャンプできれば一流になれるはずだ。

——坂田コーチも「流の世界」で戦っていた1人です。そして英語の先生でもあるんですね。日本選手権で上位入賞した時、「お前、すごいなあ」と言われ、素直に嬉しかったです。それまでとは比べものにならないほどいい演技ができ、驚かれました。



高校では普通科「グローバルコース」の生徒です。将来の夢はホテルで勤務すること。海外を旅した経験から、ホテル業界に憧れるようになりました。週4杯、国体、日本選手権と重要な試合が続きます。挑戦している技をこの4つの大会で成功させています。



ここから先は覚悟が必要。期待するから成長を求め

坂田さんは国内の大学を中退して米国の大学に進むなど、常に挑戦を続けてきた競技者だ。だからこそ、長澤選手には「もっと上を目指せ」と厳しい声を掛ける。長澤選手の成長をどう見ているのか？

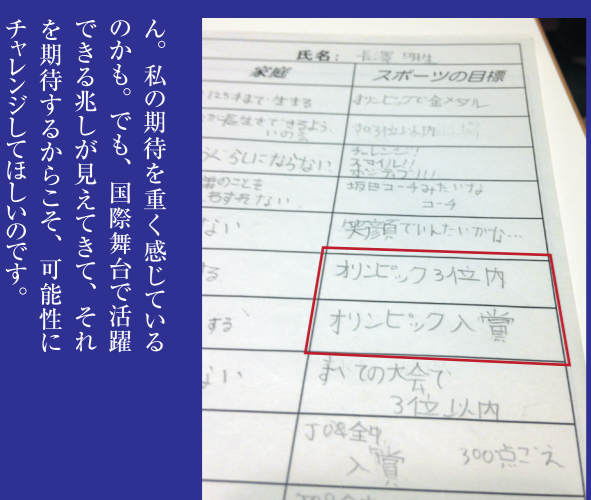
いたのを覚えています。競技を追究するにあたり、子どもなりに自分の理論があつて、目標から逆算して練習ができる子だと思えました。

高い身体能力はないが、柔軟性があつて、腹筋が強い。真面目で、「これだけはやろう」と言



国際大付高 坂田 芳寛 監督

うと、きちんとやる子です。でも、心はまだそんなに強くない。今、少し迷いが出ていますね。でも「大学でも競技を続けたい」と言ってきました。今後は弱点を克服し、プラスに変えて成長していつてほしい。そのためには自分を変えていかなければいけません。



昨年、練習でかなり追い込み、想像を超えて成長できたから、日本選手権で3位に入ることができた。2020年東京五輪を意識できることができました。ここから先は覚悟が必要です。レベルを上げるために、より厳しいトレーニングをせねばなりません。

私の期待を重く感じているのかも。でも、国際舞台で活躍できる兆しが見えてきて、それを期待するからこそ、可能性にチャレンジしてほしいのです。

さかた・よしひろ 1971年7月25日生まれ、47歳。神奈川県出身、土浦日本大高(茨城)、米国・オハイオ州立大卒。日本選手権の3メートルシンクロ板で6連覇。89、92、93、95、96年1メートル飛板飛込で優勝。2002年には3メートル飛板飛込で優勝。97年ユニバーシアード代表。2000年アジア選手権1メートル、3メートル飛板飛込4位。01年アジアカップ1メートル飛板飛込3位、05年東アジア大会のシンクロナイズド3メートルで3位、3メートル飛板飛込4位。現在は国際大付高監督。

登坂・宮原親子、父と娘の持ち味は逆です

女子レスリングの日本・ポーランド両国の代表による合同合宿は、5月21日から28日まで高岡市竹平記念体育館で行われ、同市出身でリオ五輪48キロ級金メダリストの登坂絵莉（東新住建）と、国際舞台で活躍する宮原優（博報堂DYSスポーツ）両選手が技を磨いた。合宿の期間中は子ども向けのレスリング教室も開催され、2人は地元ジュニア選手の指導に当たった。会場では県内のレスリング関係者がスタッフとして選手らをサポート。その中にはジュニア時代の両選手と間近で接し、高岡一高レスリング部監督として登坂選手の父・修さんと宮原選手の父・稔さんを「高校日本二」に導いた岡本周さん



高岡で女子レスリング日本・ポーランド合宿

元高岡一高レスリング部監督・岡本さんに聞く

1969年4月から38年間、高岡一高で指導にあたり、その間に高校チャンピオンが4人誕生しました。修と稔は2歳違い。修が先輩です。2人とも48キロ級でした。修は2年の時に国体で優勝し、稔は3年の時に全国高校総体で準優勝、国体は優勝しています。2人とも身体能力・精神力ともありましたが、どちらかという修が身体能力に優れている。稔は精神力で戦うタイプでした。

（71）の姿もあった。2組の親子との思い出について語ってくれた。

◇ ◇

面白いものですね。2人の娘を見てみると、持ち味は逆のような気がします。絵莉のリオ五輪での戦い方は、気持ちの強さが際立っていましたし、優は長い手足を生かして巧みな戦いを展開します。それぞれの父親は自分に足りなかった部分を補ってほしいと思つて娘を育てたのではないのでしょうか。

教えることの依頼を受け、高岡一高のレスリング場を使って子どもたちの指導に当たっていたことがありました。そのころ、登坂・宮原親子は熱心に通つてきました。絵莉は優より1歳年上ですが、優の方がレスリングを始めた時期



当時は石川県からリオ五輪63キロ級金メダリストとなる川井梨紗子（ジャパンビバレッジ）と友香子（至学館大）姉妹も親に連れられて練習に参加していました。今になって思うと、集まっていたのはすごいメンバーです。

こうして絵莉と優が高岡で練習しているのを見ると、孫が里帰りしてきたようで嬉しいです。2013年に2人がそろってハンガリーで開催された世界選手権に出場した時、2人の両親と一緒に観戦しました。台風の直撃を受けて交通網が乱れ、予定していた飛行機に乗ることができず大変な思いをしたのも、今ではいい思い出です。

6月の全日本選抜では優が53キロ級で準優勝、絵莉が50キロ級で3位でした。同じ階級で争っていた時期もあったので、今度はそろって優勝し、世界選手権に出てくればと思つていましたが、残念でした。しかし、これからは2020年東京五輪に向け、気持ちも新たに頑張つてほしいと思います。2人の両親と二緒に、また国際大会で応援できるのを楽しみにしています。

（文・写真 若林朋子）

水泳の日本選手権、男子1500メートル自由形で竹田涉瑚選手（富山北部高出身、オーエンス）が初優勝した。同種目では荒瀬洋太選手が2000年シドニー五輪に出場している。目指すは当然、東京五輪。富山県の国体チーム前監督の泉敏郎さんが竹田選手に喜びの声を聞いた。

「自己ベスト（14分55秒42）での優勝。15分を切ることであった要因は？」「15分切り」は、1500メートル自由形を専門とする上での大きな目標だった。その目標を成し遂げたいというモチベーションが日々のトレーニングで自分を追い込み続ける支えとなった。過酷なトレーニングに耐えることが出来た。去年から取り組んだ世界のトップ選手の効率のよい泳ぎ方が、自分なりにできたと思う。

「4年前のパンパシフィック選手権代表入り後は、目立った成績を残せていなかったが……」

4年前は出場するだけで満足してしまい、歩みを止めていた。その後も自信を持てず、さえない結果しか出ない時期が続いていた。しかし、今年

東京五輪出場と「荒瀬超え」目指す

競泳の日本選手権 男子1500自優勝・竹田 涉瑚



インタビュー 泉敏郎さん



「東京五輪を狙う上で、絶対に外してはいけないステップだ」という覚悟をもつて臨んだ。4年前の自分にリベンジする機会でもあったと思う。支え続けてくれた人達に、「結果で恩返ししたい」という気持ちが、今回の飛躍になった。

「日本記録更新や、世界との差を縮めるために、今後、どう練習に取り組んでいくか。」

去年から取り組んでいる2ピートキックという1回のストローク（右手、左手の交互1回転）に2回のキックを打ち込むスタイルをより洗練させていきたい。日本人の長距離選手は6ピートキックという1回のストロークに6回前後のキックを打ち込み続けるスタイルが主流となっており、速いスピードが維持できる分体力の消耗も激しいのが特徴。このスタイルを1500メートルで維持できれば、かなり速く泳ぐことができる。現在の水泳の長距離界の常識を捨てて、進化していくしかない。

「アジア大会（8月18日～9月2日、ジャカルタ）での目標は？」

金メダル獲得。4年前は表彰台にすら上がることができなかった。今年が一番高い場所の景色を見ることができるよう頑張る。

荒瀬以来の五輪出場を期待せずにはられない。2020年東京五輪に向けて抱負をお願いします。

アスリートとして東京五輪を目指せることが、どれだけ幸せなことか常々感じている。大きなチャンス。必ず出場権を獲得したい。荒瀬さんは自分が「1500で勝りたい」と思える原点だった。憧れた。記録で上回ることでできたとしても、五輪の舞台に立たなければ真の意味で超えたとはいえないと思う。2020年に富山の皆さんから応援いただけるよう、高みを目指したい。

ただしようこ 174センチ、60キロ。富山北部高1法政大オーエンス。4月の水泳日本選手権1500メートル自由形で優勝し、2018年パンパシフィック選手権アジア大会の日本代表に23歳。

いずみとしろう 熊本県出身。帝京平成大学現代ライフ学部専任講師。県競泳団体チーム前監督（2000年・16年。52歳）。

もうすっかり富山の人ですね(笑)
 ははは、スーパーの特売日もしっかり把握してますからね!

とやまスポーツ応援バラエティ

リ〜リ〜リ〜

富山発のスポーツメディア

Truth

Tスポとやま



県内のケーブルテレビで放送中の「とやまスポーツ応援バラエティリ〜リ〜リ〜」番組アシスタントの二口祥さんがシーズン前期を16勝17敗1分け、西地区4位に沈み、後期の巻き返しを狙う富山GRNサンダーバース伊藤監督を直撃しました。番組内では放送できなかったチームのこと、そしてプライベートな話をまとめました。



インタビュー 二口 祥
 写真 富山GRNサンダーバース
 金森 正晃

●6月の補強

二口 いつも番組でお世話になってます。前期成績は16勝17敗1分け。順位は西地区4位と課題の残る結果になりましたが、後期はスタートから好調ですね! チームの調子は上がってますか?

伊藤 前期、攻撃陣は長打力に欠けるころがありました。新加入の榎本が2番に入ることによってチャンスを作り、広げることが出来ます。外野を金子が締め、強史がセカンドに入る事によって守備を固められるので、攻守の面は前期よりも確実にレベルアップしたと思います。



榎本

●今の強み

攻撃陣で本来ある力を発揮できていない選手もいるので、持っている力を出すことができれば破壊力のある打線になると期待しています。

二口 今のサンダーバースの強みは? 伊藤 乾を筆頭にラミレス、湯浅、吉田の先発陣のゲームメイク能力が優れているところが現在のサンダーバースの強みだと思います。

二口 その中でも特に期待したいのは? 伊藤 乾の加入は非常に大きく、若い投手達を引っ張ってくれています。それと、湯浅という、今は粗削りでも将来が楽しみな投手がいるのは、見ていると面白いので注目していただければと思



乾

います。

●アイデアマンですね

二口 試合会場では篠塚さんとの伝説の試合の再戦や、古田さんとの逆バッテリーなどその他にも様々なイベントを行っています。監督が考えられているのですか?

伊藤 篠塚さんの企画は、当時金沢での試合だったので、同じ北陸の富山で再戦したら面白いかなと思ってお声掛けしたところ、快諾していただき感謝しています。打たれましたけどね(笑) 打たれたことよってまた来年もできるかなど。その映像を古田さんに見てもらったところ、面白い企画だと言ってくだったので、来年はぜひマスクを被ってくださいとお願ひしています。

二口 監督ってアイデアマンですね! 伝説のバッテリー復活! これは楽しみです。

●野球の楽しみ方

二口 私は野球初心者なのですが、どのように試合を楽しんだらいいですか?

伊藤 応援団と二口に応援することから始めた



番組YouTube

●地元の人みたいですね

二口 伊藤監督が富山にいらっしやつてやがて半年が経ちますが、慣れましたか?

伊藤 もうナビはいらないくらい大分、道は分かってきました。射水市のゴルフ場や小矢部のアウトレットにも行きますよ。

二口 す〜い! アクティブですね!

伊藤 スーパーで買い物をして自炊もします。特売日もしっかり把握していますからね。

二口 すっかり地元の人みたいですね(笑)。



いとう・ともひと 1992年のバルセロナオリンピック野球日本代表に選出され、1大会27奪三振のギネス記録を作るなど、日本の銅メダル獲得に貢献した。その後、ドラフト一位でヤクルトに入団。1年目の93年に7勝2敗、防御率0.91でセリーグ新人王、2003年に引退。通算37勝27敗25セーブ。以降、ヤクルトでコーチを務め、今年から富山GRNサンダーバースの監督に就任。

ふたくち・さち 射水市出身。とやまスポーツ 応援バラエティ「リ〜リ〜リ〜」の番組アシスタントを務める傍、自身も毎年とやまマラソンに参加するほどのスポーツウーマン。

●富山サンダーバース後期日程(8、9月ホーム戦)

開催日	対戦チーム	開始時間	球場
8月1日(水)	福井	18:00	高岡西部
8月3日(金)	滋賀	18:00	高岡西部
8月4日(土)	福井	14:00	城光寺
8月5日(日)	信濃	13:00	城光寺
8月8日(水)	滋賀	18:00	高岡西部
8月15日(水)	滋賀	13:00	城光寺
8月19日(日)	石川	18:00	高岡西部
8月22日(水)	信濃	18:00	高岡西部
9月2日(日)	石川	13:00	桃山
9月8日(土)	新潟	13:00	城光寺



ヤマヒデホーム
 リノベーション
 ショールーム
 見学会随時受付中

樹のソムリエstudio
 金沢店 | 井波店(秀夢木楽館) | 東京店(ヒタットハウス都立大学)

見学をご希望の方は 0763-32-7077 まで



(株) 山秀木材 ヤマヒデホーム www.yamahidehome.co.jp

カターレ富山は新たに就任した安達監督(右)のもと巻き返しを狙う。左はFW才藤選手 ©KATALLER TOYAMA



れまでは足元でボールをもらえらる機会が少なかった。少ないとボールを持った時に「仕掛けなきゃ」「自分がチャンスをつくらなきゃ」と力が入って空回りしがちになる。(現在ののように)ボールに数多く触れるとプレートのリズムもつかみやすい」と言う。

■個々の能力アップに重点

「選手たちのゲームに対する戦術理解は早い。足りないのは、それを実践するための個々の能力。個人や少人数グループでの戦術を改善していく必要がある」というのが安達監督の考え。このため、育成年代を長く指導してきた経験を生かし、基本スキルや判断力の向上を狙った多彩な練習方法で選手を鍛えている。

FW木村裕は以前に指導を受けた安達監督のもとでのプレーを希望して6月にJ-1の長崎から移籍した。「選手のアイデアを引き出してくれる練習が多いので成長できる」と意欲的に取り組んでいる。

木村と同時にMF吉岡雅和が長崎から加入。MF脇本晃成も復帰して選手層は厚みを増している。



攻撃センスを発揮している新井選手 ©KATALLER TOYAMA



得点力がアップしチームの調子が上向いている ©KATALLER TOYAMA

カターレ富山はリーグ前半戦16試合を5勝1分10敗の15位で折り返した。開幕から苦戦が続き、春の大型連休中の3連戦で全敗して2勝8敗で最下位の17位に。クラブは5月9日に就任2年目だった浮気哲郎監督を解任し、神戸の監督や長崎のヘッドコーチを務めた安達亮監督を新たに招へいた。

■パスサッカーへ転換

安達監督が着任時、失点はリーグ最多で、得点も伸び悩んでいた。攻守ともに課題が多い中、まず手をつけたのが攻撃方法の見直し。それまでは長いボールを使って、気に相手ゴール前に迫るシンプルな攻めが多かったが、逆に短いパスの交換を増やしてボールを保持しながら攻めるスタイルに転換した。

そのうえで「サイドを生かすためにも中央からのスルーパスを常に狙う」「GK前のスペースを狙って低い弾道のクロスを入れる」などポイントを絞って選手に伝えた。特に強調したのは「中盤でボールを受けて前を向くこと」。攻撃の選択肢を増やし、敵に脅威を与えることができる。効果はすぐに表れ、攻撃パターンの幅が広がって得点が増えた。

前半戦16試合での総得点は20でリーグ9位だが、うち10点を監督交代後の6試合で挙げている。

選手たちも気持ち新たにパスサッカーにトライし、順応が早かった。ボールを扱うテクニックに自信を持つ若手が多かったのもある。エース候補として今季加入した21歳のMF新井瑞希はこの戦い方にフィットし、ドリブルをはじめとする自身の持ち味を発揮して攻撃の要となっている。「こ

攻撃上向き 浮上なるか

カターレ富山は苦戦が続き、監督交代に踏み切った。安達亮監督のもと再起を図っている。ここから巻き返したい。

文 赤壁 逸朗



©2008KATALLER

NPO法人 Tスポとやま

【賛助会員】

企業・団体：[年会費] ¥10,000(税込) / 1口
個人：[年会費] ¥3,000(税込) / 1口

※賛助会員には「Truth」(年4回発行)を送付いたします。また、同誌に御芳名を掲載します。会員期限は入会日から2019年3月末までとします。

賛助会員募集

入会方法

申込書を記入いただき、年会費を銀行振込などでご入金ください。
◇振込先 北陸銀行 本店営業部 普通6071056 特定非営利活動法人 Tスポとやま / 富山銀行 本店営業部 普通3012357 特定非営利活動法人 Tスポとやま
※振込の場合は申込書を下記までFAXまたはメールでお送りください。ホームページからも申し込みいただけます。

◇FAX:0766-55-0009 ◇E-mail:nisennen@tspotoyama.com ◇問い合わせ先 080-3461-5959(Tスポとやま事務局)

お気軽に
お問い合わせ
ください

カターレ案内板

■夏祭りイベントを開催

8月25日の第20節・福島戦、9月1日の第21節・F東京U-23戦では花火の打ち上げをはじめ会場さまざまなイベントが行われる

■カターレNEWSを毎月発行

クラブの情報をまとめたタブロイド紙「カターレ富山NEWS」を毎月発行。カターレ・ローソン各店舗やCiCビルのカターレ・サポステーションなどで無料配布している。

(問い合わせ)カターレ富山 電話076-461-5200

■10月までのホームゲーム日程

第20節	8月25日(土)	18:30	vs 福 島
第21節	9月1日(土)	未定	vsF東京U-23
第23節	9月16日(日)	未定	vs群 馬
第26節	10月7日(日)	未定	vs相模原
第28節	10月21日(日)	未定	vs長 野

※会場はいずれも県総合運動公園陸上競技場。時間は開始時刻。第21節以降の開始時刻は7月下旬に決定

富山グラウジーズ 10月のホームゲーム

月	日	対戦相手	会場
10月	6日	横浜ビー・コルセアーズ	富山市総合
	7日	横浜ビー・コルセアーズ	富山市総合
	20日	京都ハンナリーズ	富山市総合
	21日	京都ハンナリーズ	富山市総合
	27日	秋田ノーザンハピネッツ	県総合
	28日	秋田ノーザンハピネッツ	県総合

(試合時間は変更になることもあります。詳細は富山グラウジーズ公式ウェブサイト確認ください)

■オールスターに宇都、大塚、水戸
来年1月には、富山市でオールスターゲームが開催される。富山におけるバスケットに対する認知度をこれまでより一ランクアップさせ、文化として定着させる大きなチャンスだと思っている。オールスターには、富山から宇都、大塚、水戸には出てほしいと思っている。皆さん楽しみにしててください。

■馬場、八村を呼べるチームに
富山市出身の馬場雄大(アルバルク東京)、八村塁(米國・ゴンザカ大)が日本のバスケットボール界の若きスターとして注目を集めている。富山で見たファンも多いのでは？

私も見てみたい。そのためにも、近い将来、毎試合5000人を動員し、毎シーズンプレーオフに行けるチームを作りたい。それは、日本代表の馬場と八村がきたくなるようなチームになることでもあるからだ。

富山のプロチーム3球団のリアル情報



「来季こそ、飛躍を」3年目へエール

熱血ブースター観戦記・坂野上満

■「二つの謎」に包まれたシーズン

2018年5月27日、横浜アリーナにはBリーグ最後の試合(B1、2入れ替え戦)を勝利で終えたグラウジーズの選手たちの姿があった。これによって来シーズンもB1に残ることができたのだが、何か釈然としない。それだけ、昨シーズンのグラウジーズの戦いは、いろんな謎に満ちていたように思う。

昨シーズン、グラウジーズはヘッドコーチが常勝軍団へと導いたボブ・ナッシュからセルビア出身で若手選手の育成に実績があるミオドラグ・ライコビッチへ交替した。新指揮官のもと、序盤は三河や東京といった強豪と顔を合わせたこともあり、17年9月と10月を4勝7敗と負け越すも、11月は川崎から貴重な白星を挙げるなど3勝3敗で持ちこたえる。

強いグラウジーズの期待が日に日に膨らんでいったのは12月から翌年1月にかけてであった。相手に恵まれたものもあるが、この2か月を10勝5敗と大きく勝ち越したのだ。ひょっとしたら、プレーオフ進出(各地区2位までと、それ以外のチームのうちリーグ全体での勝率が高い2チームの計8チームで争われる)も夢ではないのではないかと思わせた。この時点で60試合中32試合を消化し、17勝15敗で中地区単独2位。しかし、ここから謎の低迷が始まった。

■2月の初旬から泥沼10連敗

まず「一つ目の謎」は1月26日のこと。

シューター岡田優がB1の西宮に期限付き移籍。岡田は出場機会に恵まれなかったものの、彼が抜けると同じポジションの大塚の負担が大きくなるのは明らかであった。不安は的中し、強豪との対戦が続いた2月の初旬から泥沼の10連敗。この途中に最大の謎が訪れる。2月26日のドリュー・ヴァイニーの契約解除である。

ヴァイニーはグラウジーズ3年目で、フォワードでありながらボール運び、ドライブ、3ポイントシュートと何でもできるオールラウンダープレイヤー。この選手との契約解除は、チームがその器用さと戦力バランスを放棄したことを意味した。何よりも、代わりに加入したクリント・チャップマンがチームにフィットするまでに時間を必要とするのは明らかで、その間に勝てる相手(3月初旬の名古屋、大阪)との試合を全て落としたことが最後に大きく響くことになった。

■予想していなかった残留プレーオフ

これらの結果、レギュラーシーズン最後の滋賀戦で2連敗し、まさかの残留プレーオフへ。最終成績は24勝36敗の中地区5位。前シーズン(18勝42敗)から6勝の積み上げは評価できるが、2月以降の28試合で7勝しかできなかったことについては岡田、ヴァイニー両選手の移籍・退団が大きく影響しているのではないだろうか。2人がいなくなってから日本代表の宇都直輝や大塚裕土が後半戦

はほぼ試合に出ずっぱりとなり、明らかに負担が増えた。

チームもブースターも予想していなかった残留プレーオフ。島根との1回戦の初戦を落とし絶体絶命となるも切り抜け、横浜との2回戦に敗れ、熊本とのB1、2入れ替え戦に臨むことに。試合は序盤から白熱した展開となり、終わってみれば88-85の僅差。富山ブースターからすれば冷や汗ものの勝利であった。

■経営資源の有効活用を願う

「B1の3年目」となる来季に向け、「前途多難」という言葉しか浮かばない。特に外国籍選手が常時2名出場可能になるなど、戦い方に未知の要素が存在することになる。いずれにせよ、限られた球団の経営資源を最大限有効に活用し、すっきりとした形でシーズンを締めくくってもらうことを切に願いたい。



さかのうえ・みつる
1970年、高岡市生まれ。メーカーのサラリーマンを経て99年に税理士となる。家族そろって富山グラウジーズのブースターになり、ちょうど10年目。Tスポとやまのメンバー。

3季目こそ 勝つチームに

10月開幕のB1リーグ

富山グラウジーズ・黒田社長に展望と課題を聞く

「簡単じゃない。B1の壁をどう乗り越えていくか……」

富山グラウジーズの黒田祐社長がB1、2入れ替え戦で辛くも残留を決めた昨シーズンを振り返りながら、最後に言った言葉が、苦しんだシーズンを物語っていた。3シーズン目の展望と課題とは？

■11月、田臥勇太が富山へ
親子連れのファンが増え、ホームの勝率も1年目より上がったことからも、観客動員が大事だと感じている。来季は、平均3000人を実現したい。そのためには、平日(水曜日)開催が2試合から6試合に増えることもあり、企業をもう少し巻き込まなければいけないと思っている。サラリーマンが仕事帰りにスポーツ観戦を楽

■応援してもらえない環境を
B1残留ではなく、常に上位を狙える位置にいるチームになるには何が必要なのか。サラリーマンが力を持つ構図ができてきたなかで、富山全体でグラウジーズを応援してもらえない環境を作る必要がある。昨シーズンは、年間シートが1年目の倍の約700席に増え、リビーターで1階席が埋まるようになったこともあり、ホームの平均観客数は2731人と、1年目(2482人)より249人増えた。入れ替え戦の悔しさを知る宇都直輝、大塚裕土、水戸健史も残り、チームの骨格は整った。さらに応援してもらうためにも勝つしかない。



聞き手・文 松井 克仁
写真 金森 正晃、若林 朋子



スポーツ伝言板

ここでは、県内の身近なスポーツの話題を紹介していきます！
あわせて皆様からの情報提供もお待ちしておりますので、詳しくは左ページ下記をご覧ください。

美への要素を ココロのスイッチに

特別寄稿・花田真寿美さん



5月、味の素ナショナルトレーニングセンターで40名近くの全日本女子強化選手に対して「アスリートビューティー講座」の講師、コーディネートをさせて頂きました。講座の内容は、スキンケアとメイクアップ。

選手たちがより強く、より美しく、より積極的になるために、「美」の観点から選手の自信や自己肯定感を高め、更に良いパフォーマンスを引き出せるようサポートをすることが目的です。スキンケアは、美容家の入江田香さんに担当していただきました。

入江さんは、肌の構造やスキンケアの基本的なポイントを説明し、肌トラブルや汗対策、テーピングや電極パッドによるかぶれへの対処法をアドバイスしました。海外遠征・試合時など気候の違いによって変える必要があるスキンケアについても選手たちがその日から行動に移せる内容にアレンジして伝えました。

私が担当したメイクアップでは、スーツを着るときのナチュラルメイクや、メディア対応時のメイクポイントを選んでモニタリングしながら伝えました。選手たちは、メイクアイテムを使って自身でメイクを試みたり、お互いに施しあったりして、笑顔もみられ楽しいそうなお雰囲気でした。

講座の後、選手からは「今回教えていただいたことを参考に身だしなみから整えていこうと思います。将来のためにも、スキンケアを怠らさずしっかりやっていきたいです」といった感想が届きました。今まで、メイクをすることが美容に興味を持つことは「法度とされ、排除すべきものだと捉えられてきた女性アスリートの世界。こうした講座をきっかけにココロのスイッチとして「美」の要素を手段として選べたらまた違う未来に繋がることを実感してもらいながら、スポーツにおける「美」への理解が広がることを期待しています。

はなだ・ますみ アスリートビューティアドバイザー。富山市出身。元バドミントン選手。ミスユニバーシアードファイナリスト。現役アスリート・元アスリートの内的要素・外的要素を磨くプログラムの講師。コーディネートをしている。

平昌五輪代表 シヨートトラック坂爪選手 子どもたちを指導

4月28日、富山スケートセンターで平昌五輪のスピードスケートシヨートトラック代表の坂爪亮介選手（28）を招いてのシヨートトラック教室が開かれ、県内外から10人の子どもたちが参加した。

小学3年生のころからシヨートトラックを始めた坂爪選手は、自身の経験から、今大事なのは、氷にしっかりと乗ってバランスをとる感覚を養うことだと話し、氷上で手本をみせながら、子どもたちにアドバイスした。また、いろんなスポーツを体験して、さまざまな動きを身につけることの大切さも強調していた。

坂爪選手は、「スポーツは、学び、挫折、いろんな経験ができる、今やっていることに無我夢中になってほしい。一生懸命やっているのを見ているものがある」と語り、五輪を夢見る子どもたちにエールを送っていた。

今回の教室を企画した富山市の上野理絵さんが、県内の子どもたちや大学生にシヨートトラックを教えている。小学生を対象に初心者コース、選手育成コース、スケート初心者の大学生を対象に団体出場目指すコースがあり、10月～4月は氷上練習、6月～9月は陸上練習をメインに活動している。興味のある方は、yellowtai.toyama.sst@gmail.com まで。



東京五輪の試金石、ホッケーW杯代表候補入りした 小野真由美選手が決意語る

6月22日、2020年東京五輪に向けて試金石となる重要な国際大会「第14回F IH女子ワールドカップ」（ロンドン・7月21日～8月5日）の日本代表候補、さくらJAPANに春号で紹介した小矢部市出身の小野真由美選手（33）が選出された。老人ホームを全国展開するSOMP Oケアに勤務し、所属チームがない小野は、実戦経験を積むために6月から日本代表のシアンコーチが監督を務める山梨学院大学から選手エントリーし日本リーグに参戦、代表入りにもけコンディショニングの向上を図っていた。

代表候補入りしたことについて小野は「今回私が再びコートに立ち、ワールドカップに挑戦できるチャンスを得られたことに感謝の気持ちでいっぱいです。会社の皆様のご理解のおかげでトレーニングできる時間をいただき、たくさんの方々の日頃の支えがあったからこそ得られたチャンスだと思っています。このチャンスをしっかりと掴み、私にとって最後となるワールドカップで、今ある力を十二分に発揮したいと思っています。このワールドカップが東京オリンピックに必ず繋がる大会になると思います。チームの団結力が成長の鍵だと思っていますので、年長者としてチームをしっかり下から支えていきたいです」とコメント、現役選手としてホッケーをメジャーにするの夢に向かって挑戦を続けている。



県内のスポーツ情報をお待ちしております

富山発のスポーツメディア

Truth

Find us on Facebook

Tスポとやま Truth

https://www.facebook.com/tpo.truth

Tスポとやま

nsenenen@tpotoyama.com

・Tスポとやまメール

nsenenen@tpotoyama.com

『Truth』秋号掲載ニュースの締め切りは2018年9月末

原稿・写真（画像）は左記メールアドレスまで、よろしくお願ひします。なお、体裁に合せたリライトは編集部でさせていただきます、ゲラチェックはありません。

競技人口拡大へ！

野球とソフトボールが初の連携 ティールボール県大会に45チーム参加

7月7日、2回目となるジュニアティールボール富山県大会がパーク高岡で開かれた。7日は、あいにくの雨で開会式は屋内となり、試合は8日に実施されたが、県内から45チームが参加、去年の第1回大会の29チームから16チームも増えた。要因のひとつに主催する「とやまティールボール推進委員会」の呼びかけによって県ソフトボール協会が今年から大会に協力したことがあげられる。

ティールボールは、静止したボールを思い切り打って、走って、打ったボールを捕って投げるという、単純でわかりやすいベースボール型ゲームで、小学校低学年の児童に対するアプローチになるとの観点で、野球とソフトの思惑が一致した。少子化の影響もあって競技人口が減る中で、安全で室内でも楽しめるティールボールが普及すれば、野球、ソフト離れに歯止めがかかるのではないかと期待もある。

今回、小学1年生から4年生までの581人の児童が大会に参加したが、うち66人が女児（11・4％）で、特に、ソフトボールから参加したドリムガールズ（射水市）は女児単独チームだった。県野球協議会普及・強化部の伊東与三委員長は「競技人口拡大には、女子への普及もポイントになる。2020年には野球・ソフトボールがオリンピック種目に復活することもあり、互いに連携することでサッカーW杯のような盛り上がりを目指したい」と話した。

第2回大会は、二塚リトルヤンキース（高岡市）が制し、7月23日にメットライフドーム（埼玉）で開かれた全国大会に出場。競技の壁を越えた取り組みが、今後の県球界の発展につながることを期待したい。



Tスポとやま 賛助会員の皆様(2018年7月20日現在)

【法人会員】

けやきひふ科、タイセイツアーズ、富山信用金庫、三進堂、藤田内科クリニック、岡崎工機、伸栄商会、日伸精機、山崎機工、富山機械工業センター、富山技販、荒井学園、パレススポーツクラブ、東亜電工、KANAYA、津根精機、五省会 西能病院、北陸機材、前川歯科クリニック、ユニゾーン、立山科学工業、千山道場、ジャストドゥイット、ヤマヒデホーム、富山県総合警備保障、高岡スポーツユナイテッド、ホテルよし原、バイエルンスポーツ、まちづくりとやま、JUMP MARUYAMA、クラブJoy、高岡金網、あおい接骨院、カターレ富山をサポートする会、すき焼はやし、富山ベースボールクラブ (順不同)

【個人会員】

伊井朋幸、吉野栄樹、鷺田真琴、有澤渉、尾畑達彦、尾畑美奈、坂本博志、松井洋、中川浩一、土肥正秀、夏野義一、高岡茂樹、面谷太志、田中一郎、松本裕典、南部政樹、田村勉、田村恵子、澤田利浩、福井良、小沼憲子、嶋田利隆、大辻保、牧内直哉、江川正光、松島公裕、松下和磨、加藤進也、北井誠、末吉正道、北川悠介、大谷由里子、南雲公子、谷崎文保、伊東与二、大家芳夫、東軒一虎、沼田秀樹、中田憲昭、宮原稔、田中厚、谷内浩仁、木内岳夫、横嶋好子、細川祐司、松本壽夫、酒井久仁夫、吉田義夫、清田義之 (敬称略、順不同)

【編集後記】

・日大アメフト部の悪質タックル問題が世間を騒がせるなかで、大学、社会人でアメフトチームに所属しプレーした私のところにもこの問題について、多くの人が意見を求めてきた。いい話ではないが、こんなにもアメフトについていろいろ聞かれたのも初めてのことで、ルールへの理解が深まったように思う。県内には、富山大学ファイヤールズと富山ベアーズ(社会人)の2チームがある。10月7日には、富山ベアーズの試合が富山市の五福公園陸上競技場で予定されている。みなさんもぜひ一度、生のプレーを見て、その迫力と戦術の面白さを体感してほしい(松井)

・高校時代の恩師が先日亡くなりました。取材現場で顔を合わせてはきたけれど、もっと聞いておきたかったことがたくさんあります。この夏に部活動を終えた生徒のみなさん、お疲れさまでした。卒業して、社会人になり、年齢を重ねてから、また顧問の先生とゆっくり話す機会をぜひもってください(赤壁)

・試みとして、県内ケーブルテレビで絶賛放送中の、とやまスポーツ応援バラエティ番組「リー！リー！リー！」とコラボ企画をやってみました。試合では見せない選手、監督の素顔にフォーカスしています。今回の伊藤監督でいうと、野球やチームの話を一切なしで取材するのが目標です。笑(金森)

・水球・稲場悠介選手の勢いを感じるインタビュー。先輩の保田賢也さんとの話では、頼もしい一面とあどけない18歳の青年の表情を見せてくれました。大好きな水球を極めたいという思いは揺るぎないものと感じるとともに、何かやってくれそうな期待を大きく抱くことができた時間でした。大きなニュースが入ってくるかもしれないですね(土田)

・ジュニアサッカー富山県大会のゲストで来県した野球YouTuberトクサンTVの富山編、みんなで見てみましょう！(中沖)

・女子レスリングの登坂絵莉・宮原優両選手を高岡での合宿中に、インタビューしました。前向きで、力強いコメントは頼もしい限り。ステキな笑顔と真剣な表情のギャップも魅力的です。観客席には両選手の父上と多くのファンの姿がありました。頑張れ、登坂&宮原！ 表紙を飾ってくださった両選手を「Truth」はこれからも応援し続けます(若林)

NPO法人 Tスポとやま 富山初のスポーツマガジン「Truth」発行・運営

TEL:080-3461-5959 E-mail:nisennen@tspotoyama.com

HP : <http://tspotoyama.com/>

Facebook : <https://www.facebook.com/tspo.truth>

顧問：田中一郎

STAFF：赤壁逸朗／金森正晃／久留健太郎／小林永／坂野上満／土田由香里／中沖紘一／永森茂／松井克仁
若林朋子

DESIGN:glic株式会社

誰もが世界一になれるわけでもない
誰もが日本代表になれるわけでもない
それでも人はスポーツをする
昨日の自分に追い越されないために
明日の自分を追い越すために
スポーツに鍛えられた人生は
勝っても負けても きっと負けない

スポーツは、自分を超越するためにある。

スポーツくじ



スポーツくじ(toto・BIG)の収益は、日本のスポーツを育てるために使われています。

www.toto-dream.com www.toto-growing.com 19歳未満の方の購入又は譲り受けは法律で禁じられています。払戻金も受け取れません。運営・販売：独立行政法人日本スポーツ振興センター

Truth 秋号は2018年10月下旬発行予定